

## 第 6 回 国内における毒ガス弾等に関する総合調査検討会 議事要旨(案)

1. 日時・場所：平成 16 年 9 月 2 日(木) 15:00~17:00 経済産業省別館 8 7 2 会議室

2. 出席者 :

(検討会委員)：森田座長、上野委員、高橋委員、花岡委員、横山(尚)委員、横山(裕)委員。

(環境省)：企画課長、企画課調査官、特殊疾病対策室長、環境リスク評価室長ほか。

(オブザーバー)：茨城県、神栖町、神奈川県、平塚市。

## 3. 議事概要

(1) 議題 1「茨城県神栖町における調査のこれまでの結果及び今後の調査方針について」

事務局から資料 3 及び参考資料に沿って茨城県神栖町における調査のこれまでの結果及び今後の調査方針について説明した。

A 井戸南東 90m 地点の地歴に関連して、掘削時に土壌の分析をして、どこ由来の土壌か推測できないかとの質問に対し、花粉・鉱物の分析は実施する予定であるが、その結果で直ちにどこ由来の土壌が分かるわけではない。候補地があれば、候補地の土壌を採取して掘削現場の土壌と比較することで、由来を同定できる可能性がある旨事務局より説明した。

ジフェニルアルシン酸とモノフェニルアルソン酸の濃度分布を見ることで、汚染メカニズム解明の手がかりになる情報が得られる可能性があるのではないかとのご指摘に対し、事務局より今後検討したいと説明した。

地下水の流れをもっと広く見ていく必要があるとの委員のご指摘に対し、地下水汚染シミュレーションを行う過程で、広範囲の地下水の流れを調査する予定であることを説明した。

揚水調査によって数 100m<sup>3</sup>の地下水をくみ上げる場合に、全体の地下水汚染に影響を及ぼすことはないのご意見をいただいているが、他にご意見がないか伺った。

委員から透水係数を導出するためならば、揚水量を多少絞れる可能性もあるとのご指摘があり、検討する旨事務局よりお答えした。

今後、資料 3 の「今後の調査方針」の方向で調査を進めることについて了承を得た。また、具体的な調査地点の選定などに際しては、一部の委員の意見をいただきながら進めることについても了承を得た。

(2) 議題 2 「神奈川県平塚市における地下水調査のこれまでの結果及び今後の調査方針について」

事務局から神奈川県平塚市における地下水調査のこれまでの結果及び今後の調査方針について説明した。

土壌の分析は実施したのかとの委員の質問に対し、現時点では既存の井戸の井戸水の調査を実施したい旨説明した。また他の委員から、一年程度濃度、流速などの状況を見る必要があるとのご指摘があった。

事務局より、土壌の性質により、メチル化の起こりやすさに違いがあるのか伺ったところ、委員より、微生物の多い土壌では普遍的に起こる反応である旨の発言があった。

近いうちに、フェニルメチルアルシン酸の毒性が明らかになる見込みはあるのかとの質問に対し、すぐに明らかになる可能性は低いが、調査したいと考えている旨説明した。

今後、資料 4 の「今後の対応」の方向で調査を進めることについて了承を得た。また、具体的な調査地点の選定などに際しては、一部の委員の意見をいただきながら進めることについて了承を得た。

(3) 議題 3 「その他」

事務局から、次回の検討会は 10 月中～下旬を予定している旨説明した。

以上